

# 忍野村 忍野八海祭り



レーザー光線と打ち上げ花火



高座山の八文字焼



和歌を朗読する忍野中学生



式典（神事）で玉串をあげる小波局長

令和元年8月8日（木）、山梨県忍野村の忍野八海において、忍野八海祭り実行委員会が主催する第42回 忍野八海祭りが開催されました。

忍野八海祭りは、昭和53年から始まり、村の平和と繁栄を祈念して忍野八海の守護神「八大竜王」を祀る全村的なスケールの夏祭りです。

当日、午前中には忍野八海に隣接する会場において式典が開催され、多数の来賓や地元関係者が参加し、宮司による神事や天野多喜雄忍野村長の挨拶などが行われ、南関東防衛局からは小波功局長が出席しました。このほか、忍野中学生8人による忍野八海のと歌が朗読され、多数の来賓や関係者から一人一人に拍手が送られました。

今回の祭りでは、式典のほか、午後には忍野中学校の校庭で、8月1日にギネスに認定された世界最大のモザイクアートが披露されました。このアートは忍野村の小中学生や村民らが、色違いの折紙の裏に各自の名前を記した上で、平和を願って富士山の形に8,179枚を折り、幅9.6m×高さ2.4mのシートに、地元の写真家が撮影した富士山の写真を模って張り付けられたものです。

また、夜には近くの高座山において「八文字焼」が行われ、村民の無病息災と五穀豊穡を祈願しました。そして、クライマックスは同校庭において花火大会が行われ、音楽とレーザー光線に合わせて打ちあがる花火は、夜空を斬新に彩られ魅力的でした。

（追記）

天然記念物である「忍野八海」は、富士山の伏流水に水源を発する湧水池であり、忍野村内に出口池、お釜池、底抜池、銚子池、涌池、濁池、鏡池、菖蒲池があります。世界遺産富士山の構成資産の一部として認定されており、四季を問わず国内外から観光客が訪れています。皆様、「百聞は一見に如かず」その厳かで神秘的な湧水池に訪ねてみては如何か。

（写真提供：忍野村、神事については北富士駐屯地）